



育成センターだより

鹿児島市山下町6-1 TEL 227-1972

- 1 深夜はいかい・非行防止
深夜はいかい等の少年への声かけ及び関係機関との連携
- 2 飲酒・喫煙防止
学校・地域・関係機関等の連携による声かけ及び啓発活動の推進(防犯教室ほか)

お金を大切に遣う実践力の育成を



今月の青少年育成委員の研修会の中で、「お年玉のほとんどをゲームに遣う青少年がいる」という実態が報告されました。このことは、日頃の声かけ活動で見られる「青少年の無駄遣い行為の延長線上にある課題」と考えました。このようなこともあり、日頃から抱いていた声かけ活動時の疑問を紹介しながら、現状を理解していただき、お金の遣い方について考えてみたいと思います。

まず疑問に感じることは、声かけ活動時に、ゲームセンター等で小・中学生に声を掛けると、「親と一緒に来ました。親は買い物中です」と答える子がいたり、土曜日の夜、家族でゲームセンターを訪れ、別々のゲームをしている家族に多く出会ったりすることです。このような様子から、ゲームへの各家庭の向き合い方は、様々だと考えさせられます。

次に感じることは、「青少年のゲーム代は、一体どこから出ているのだろう」「プリクラをする子どもたちの中には、化粧をしたり衣装に着替えたりする子どももいる。化粧代等に、一体どれくらい掛かるのだろう」ということです。現在は、様々な要因で物価が高騰し、日々の生活を送るのも厳しい状況にあるようですが、ゲーム等でお金を遣う青少年は、減るところか以前より多くなっているように感じます。

ゲームは、子どもや大人を虜にする楽しいものであり、ゲームの上達に伴い自分の成長や成果を実感しやすい魅力を秘めています。しかし、知らず知らずのうちに、お金を遣いすぎてしまう面があることも確かです。さらに、「内心止めたいと思っても、自分ではなかなか止められない依存症『コントロール障害』」に陥る怖さが潜んでいるのも特徴です。

今回は、近年大きな問題となっているネットゲーム依存については、紙面の関係で詳しく述べられませんが、依存傾向の子どもは、単にゲームが好きという子どもだけでなく、成長過程で否定されたり、認めてもらえなかったりした経験から、どことなく自分に自信がもてずにいる子どもが陥りやすいとされています。

今月は、日頃の声かけ活動を通した青少年の実態に疑問を投げかけることに終始してしまったかも知れませんが、大切なことは、子どもの現状や課題を理解し、子どもとしっかりと向き合う中で、お金を大切に遣う実践力(主体的に考えて行動する力)が身に付くようにかかわっていくことです。ゲーム場等へ遊びに行く習慣が身に付いた子どもを望ましい方向へと導くのは、根気のいる取組になります。少しずつ改善に向かうよう、一月のゲーム代を決めたり、時間や回数を減らしたりする話し合いを大切に、改善に向かう育成に努めたいものです。

「思いを寄せる」



当センターの活動は、「愛の声かけ」です。そのことで、普段の声かけに関わっている方々の実感と、ある研修会の講師の講話で、重なるものがありました。それは、子どもたちが愛着や絆を欲する姿と、育ってきた環境とのつながりです。

出生時からの親子の心の結びつきは、子どもから求めた際に親がそれに応えることで、愛着が育まれていくとされています。近年の研究ではそれに加えて、子どもが求めない時にも無条件に愛情を注いで関わることで、その人やその環境との絆を育んでいくとされています。

様々な要因から十分な愛情や絆に満たされずに成長してきた子どもたちは、警戒心が強く他者に全く気を許さなかったり、その反対に、見慣れない人にもためらいなく近づき誰にでも甘えたりする場合があります。その様子が問題行動として映ったとしても、行為を咎める以上に大切なことは、その背景に向き合うことと考えます。

声かけで出会う子どもたちは、それぞれに満たされない何かを、ずっと欲しているのかもしれませんが、一方的な思い込みで子どもたちを見ることなく、まずは一人一人に思いを寄せて、これからも「愛の声かけ」を続けていきたいと思ひます。

冬の心豊かで元気あふれる「さつまっ子」を育てる運動

- 1 趣旨
年末年始にかけては、家庭でのだんらんや地域の伝統行事等への参加などを通して、青少年がふるさとへの理解を深めたり、新年の目標を立てたりする時期です。青少年が希望や目標を持ちやすいこの時期に、家庭、学校、職場、地域及び関係機関・団体が緊密な連携を図りながら、「冬の心豊かで元気あふれる『さつまっ子』を育てる運動」を積極的に展開し浸透させることにより、市民一人一人が、青少年健全育成に対する理解を深め、次代の鹿児島市を担う心豊かで元気あふれる「さつまっ子」を育成するために、次の運動が実施されます。
- 2 期間 令和4年12月15日(木)～令和5年1月31日(火)
- 3 テーマ 伸びよう 伸ばそう さつまっ子
- 4 重点 明るい家庭づくりなど
- 5 実践事項
 - (1) 豊かな心を育む家庭の教育力の向上
 - (2) 学校や家庭、地域が連携した心の教育の推進
 - (3) 青少年の主体的な地域活動や団体活動の促進
 - (4) 青少年を育む環境づくりの促進
 - (5) 関係機関・団体相互の緊密な連携
 - (6) 冬休み期間中の生徒指導の充実
 - (7) 交通事故防止の推進



【 育成センターの声かけ状況 】

◇ 10月の声かけ人数 444 (191) 前年同期 373 (147)

◇ 10月の学職別声かけ人数 ()は女子再掲 ▲は減

※ 不健全娯楽(ゲーム場への出入り) ※ その他(怠学、喫煙、夜間の帰宅指導等)

	小学生	中学生	高校生	他学年	有職少年	無職少年	合計
不健全娯楽	69(15)	41(11)	288(145)	0(0)	1(1)	0(0)	399(172)
その他	0(0)	1(0)	42(18)	1(0)	0(0)	1(1)	45(19)
合計	69(15)	42(11)	330(163)	1(0)	1(1)	1(1)	444(191)
前年度比	7(4)	▲11(▲3)	76(43)	▲3(▲2)	1(1)	1(1)	71(44)

◇ 10月の地区別声かけ人数 ()は女子再掲 (声かけの記録から)

地区	人数	割合
中央駅	206(71)	46.4%
天文館	104(70)	23.4%
谷山	120(50)	27.0%
上町	0(0)	0.0%
鴨池	14(0)	3.2%
伊敷	0(0)	0.0%
その他	0(0)	0.0%
合計	444(191)	100.0%

- (合同声かけ)どの場所も親子連れで賑わっていた。子どもはゲーム、親は買い物中ということもあった。各学校で、子どもだけのゲームセンターは止めてもらうよう呼びかけをお願いしたい。
- ゲームセンターの従業員と話したら、「トラブルはないが、ここ3日間ハロウィンの関係でプリクラの客で一杯です」と教えてくれた。店内は、数校の着飾った女子高校生で一杯だった。
- (午前声かけ)ベンチで、目を閉じて座っている男子生徒は、○中学校の2年生だった。「ここに、30分ぐらいいます。親は知っています」ということだった。悩みを抱えているように感じた。

たので、「何か悩みがあるのなら家族や担任、保健室の先生、教育相談の先生などに相談してみたら」と提案した。会話後、しばらくはベンチにいたが、いつの間にかいなくなった。

【 市内三署の補導状況 】

★ 期間 令和4年1月~10月(各署の人数は、1月からの累計で表示)

◇ 不良行為別少年補導人数 ()は女子再掲 ▲は減

行為	飲酒	喫煙	粗暴行為	暴走行為	家出	深夜はいかい	怠学	不良交友	その他	合計	前年同期比
中央署	45(26)	27(3)	1(0)	0(0)	9(4)	38(14)	1(0)	2(2)	5(3)	128(52)	▲15(18)
西署	15(5)	45(4)	0(0)	0(0)	3(1)	44(9)	1(1)	0(0)	3(2)	111(22)	56(14)
南署	17(2)	33(5)	2(2)	0(0)	0(0)	64(21)	3(3)	0(0)	3(2)	122(35)	37(20)
人数合計	77(33)	105(12)	3(2)	0(0)	12(5)	146(44)	5(4)	2(2)	11(7)	361(109)	78(52)
割合	21.3%	29.1%	0.8%	0.0%	3.3%	40.5%	1.4%	0.6%	3.0%	100.0%	
当月発生計	9(5)	11(2)	0(0)	0(0)	1(0)	16(4)	0(0)	0(0)	2(1)	39(12)	※当月発生件数

◇ 犯罪(含触法)少年補導人数 ()は女子再掲 ▲は減

学職	小学生	中学生	高校生	他学生	有職少年	無職少年	合計	前年同期比	行方不明届受理少年数
中央署	0(0)	2(1)	4(0)	0(0)	4(0)	1(0)	11(1)	▲11(▲4)	22(11)
西署	6(1)	6(0)	6(1)	0(0)	4(0)	0(0)	22(2)	2(▲3)	29(10)
南署	10(1)	8(3)	5(1)	1(0)	6(1)	3(0)	33(6)	▲11(▲4)	29(13)
人数合計	16(2)	16(4)	15(2)	1(0)	14(1)	4(0)	66(9)	▲24(▲11)	80(34)
割合	24.2%	24.2%	22.7%	1.6%	21.2%	6.1%	100.0%		
当月発生計	0(0)	1(0)	2(0)	0(0)	0(0)	0(0)	3(0)	※ 当月の発生件数	

◇ 少年サポートセンター

- 薬物乱用防止教室は、10・11月に中学校(市内1校、市外4校)で実施した。また、10月に市内中学校1校、11月に市内中学校1校でTT指導による非行防止教室を実施した。11月下旬に市内中学校1校でネット利用に関する非行防止教室を実施する予定である。
- 居場所づくり活動は、10月にサツマイモの収穫活動を、11月に野外炊飯とマウンテンバイクトライアルを実施した。
- 少年相談活動は3件の相談があった。
- サイバーパトロール活動は継続中であるが、相変わらず不適切な書き込み等が見られ、注意喚起メッセージの送信を行っている。
- 補導職員による中央駅付近の巡回では、今のところ特に気になる事案はない。